

【テキストの修正】すべてがわかる世界遺産大事典〈第2版〉世界遺産検定1級公式テキスト [上巻]

* 下の表の「HP掲載日」が、書籍の奥付にある増刷日より前のものは、修正が反映されています。

修正後		修正前	HP掲載日
◆ P.002- 本書の使い方			
本書は、2020年4月現在の	←	本書は、2020年3月現在の	2020年4月30日
本書は、2020年6月現在の	←	本書は、2020年4月現在の	2020年6月21日
本書は、2020年10月現在の	←	本書は、2020年6月現在の	2020年10月31日
本書は、2021年2月現在の	←	本書は、2020年10月現在の	2021年2月22日
本書は、2021年8月現在の全世界遺産1,154件及び日本の暫定リスト記載の遺産5件を	←	本書は、2021年2月現在の全世界遺産1,121件及び日本の暫定リスト記載の遺産7件を	2021年8月1日
本書は、2021年9月現在の	←	本書は、2021年8月現在の	2021年9月5日
本書は、2022年3月現在の	←	本書は、2021年9月現在の	2022年3月1日
本書は、2022年8月現在の	←	本書は、2022年3月現在の	2022年8月30日
◆ P.015 - 2.1 世界遺産とは 5行目			
2020年4月現在	←	2020年3月現在	2020年4月30日
2020年6月現在	←	2020年4月現在	2020年6月21日
2020年10月現在	←	2020年6月現在	2020年10月31日
2021年2月現在	←	2020年10月現在	2021年2月22日
2021年8月現在で1,154件(文化遺産897件、自然遺産218件、複合遺産39件)が登録されている。	←	2021年2月現在で1,121件(文化遺産869件、自然遺産213件、複合遺産39件)が登録されている。	2021年8月1日
2021年9月現在	←	2021年8月現在	2021年9月5日
2022年3月現在	←	2021年9月現在	2022年3月1日
2022年8月現在	←	2022年3月現在	2022年8月30日
◆ P.015 - 2.2 世界遺産条約 5行目			
2020年4月現在	←	2020年3月現在	2020年4月30日
2020年6月現在	←	2020年4月現在	2020年6月21日
2020年10月現在	←	2020年6月現在	2020年10月31日
2021年2月現在	←	2020年10月現在	2021年2月22日
世界遺産条約の加盟国数は、2021年8月現在、194の国と地域に及ぶ。	←	世界遺産条約の加盟国数は、2020年3月現在、193の国と地域に及ぶ。	2021年8月1日
2021年9月現在	←	2021年8月現在	2021年9月5日
2022年3月現在	←	2021年9月現在	2022年3月1日
2022年8月現在	←	2022年3月現在	2022年8月30日

2023年3月現在		2022年8月現在	2023年3月19日
世界遺産条約の加盟国数は、2023年5月現在、195の国と地域に及ぶ。		世界遺産条約の加盟国数は、2023年3月現在、194の国と地域に及ぶ。	2023年6月1日
◆ P.026 - 4.5 危機遺産 24行目			
さらに、英国の「リヴァプール海商都市」が再開発による景観悪化のため、2021年に世界遺産リストから抹消された。	←	(最終行に追加)	2021年8月1日
◆ P.028 - 登録基準(i) 2行目			
2020年4月現在	←	2020年3月現在	2020年4月30日
2020年6月現在	←	2020年4月現在	2020年6月21日
2020年10月現在	←	2020年6月現在	2020年10月31日
2021年2月現在	←	2020年10月現在	2021年2月22日
2021年9月現在	←	2021年8月現在	2021年9月5日
2022年3月現在	←	2021年9月現在	2022年3月1日
2022年8月現在	←	2022年3月現在	2022年8月30日
◆ P.044 - 8. 世界遺産リスト記載までの流れ 4段落4-5行目			
推薦書の作成段階から世界遺産委員会で審議されるまでの間に、	←	推薦書が提出されて世界遺産委員会で審議されるまでの間に、	2022年8月1日
◆ P.047 - [日本の世界遺産]扉文章3、6行目(二カ所)、2~7行目			
2020年4月現在	←	2020年3月現在	2020年4月30日
2020年6月現在	←	2020年4月現在	2020年6月21日
2020年10月現在	←	2020年6月現在	2020年10月31日
2021年2月現在	←	2020年10月現在	2021年2月22日
1つは木造建造物で、文化遺産20件(2021年8月現在)のうち17件が、木造建造物を含んでいる。もう一つは、森と海を中心とする複合生態系で、自然遺産5件(2021年8月現在)はどれも森と海と深く関係している。	←	1つは木造建造物で、文化遺産19件(2021年2月現在)のうち16件が、木造建造物を含んでいる。もう一つは、森と海を中心とする複合生態系で、自然遺産4件(2021年2月現在)はどれも森と海と深く関係している。	2021年8月1日
2021年9月現在	←	2021年8月現在	2021年9月5日
2022年3月現在	←	2021年9月現在	2022年3月1日
2022年8月現在	←	2022年3月現在	2022年8月30日
◆ P.054 - 日光の社寺(東照宮 1行目)			
1617年に創建された徳川家康の霊廟	←	1616年に創建された徳川家康の霊廟	2023年7月7日
◆ P.056 - 富岡製糸場と絹産業遺産群 2段落目5行目			
日本特有の産業建築様式	←	日本特有の産業建築洋式	2020年4月1日

◆ P.067 - 富士山—信仰の対象と芸術の源泉（北口本宮富士浅間神社 2行目）			
唐破風付向拝	←	唐破風付向背	2020年12月4日
◆ P.069 - 白川郷・五箇山の合掌造り住宅 欄外注			
『ベルリンのモダニズム公共住宅』(下巻p.267)	←	『ベルリンのモダニズム公共住宅』(下巻p.255)	2020年7月8日
◆ P.079 - 古都奈良の文化財(興福寺2行目)			
藤原不比等によって移築された後は、	←	710年、藤原不比等によって移築された後は、	2022年2月7日
◆ P.082 - 法隆寺地域の仏教建造物群（「保存上の課題など」6行目）			
『法隆寺地域の仏教建造物群』で行われてきた木造文化財の修復の歴史が大きく影響を与えている。	←	『法隆寺地域の仏教建造物群』で行われてきた木造文化の修復の歴史が大きく影響を与えている。	2022年2月7日
◆ P.083 - 法隆寺地域の仏教建造物群（「法隆寺西院伽藍」7行目及び欄外）			
雲形組物	←	雲型組物	2023年4月27日
◆ P.083 - 法隆寺地域の仏教建造物群（「法隆寺西院伽藍」イラスト）			
雲斗(くもと)	←	雲斗(くもます)	2023年4月27日
◆ P.090 - 百舌鳥・古市古墳群 17行目			
白鳥陵古墳	←	三ツ塚古墳	2021年1月15日
◆ P.091 - 百舌鳥・古市古墳群（仁徳天皇陵古墳(大仙古墳) 1行目）			
長さ840m(濠を含めた長さで、墳丘のみの長さは486m)で墳丘の周囲を三重の濠が取り囲んでいる。	←	長さ840mで墳丘の周囲を三重の濠が取り囲んでいる。	2021年2月12日
◆ P.091 - 百舌鳥・古市古墳群（応神天皇陵古墳(菅田御廟山古墳) 3行目）			
2万本以上の円筒埴輪	←	1万8千本以上の円筒埴輪	2020年12月21日
◆ P.098 - 石見銀山遺跡とその文化的景観 20行目			
年間約40tもの銀が産出された	←	年間1,000~2,000kgもの銀が産出された	2020年11月17日
◆ P.107 - 厳島神社(能舞台) 1段落3~5行目			
根太と呼ばれる床下の角材の断面を六角形にし、床板との接触面積を減らすことで、大きく響くように工夫されている。	←	床板を支える根太を三角形に配置して床板を張り出させることで、大きく響くように工夫されている。	2022年10月19日
◆ P.108 - 『神宿る島』宗像・沖ノ島と関連遺産群 1段落目3行目			
古代祭祀の変遷	←	古代祭祀の祭祀の変遷	2020年8月28日
◆ P.115 - 長崎と天草地方の潜伏キリシタン関連遺産 2行目			
中江ノ島を聖地として独自の信仰を続けた	←	中江ノ島を聖地として独自の進行を続けた	2021年12月17日
◆ P.119 - 明治日本の産業革命遺産（官営八幡製鐵所旧日本事務所 1行目）			
官営八幡製鐵所の初代日本事務所として、	←	官営八幡製鐵所修繕工場の初代日本事務所として、	2021年9月1日

◆ P.126 - 知床 1行目			
海面付近に塩分濃度の薄い層(厚さは50m程度)がつかられる	←	海面付近に塩分濃度の薄い層(厚さは50cm程度)がつかられる	2021年5月10日
◆ P.135 - 小笠原諸島 28行目			
ノヤギの一部*やノブタの根絶は達成されているが	←	ノヤギやノブタの根絶は達成されているが	2020年1月8日
◆ P.135 - 小笠原諸島 欄外注			
ノヤギの一部: 父島を除く南島、東島、聳島列島、西島、兄島、弟島などで根絶された。			2021年1月8日
◆ P.138 - 屋久島 4,10行目			
1921年には「屋久島国有林経営の大綱」	←	1923年には「屋久島国有林経営の大綱」	2020年4月22日
さらに2012年には霧島と切り離され「屋久島国立公園」として独立も果たした。	←	さらに2011年には霧島と切り離され「屋久島国立公園」として独立も果たした。	2021年1月8日
◆ P.140 - 日本の暫定リスト登録物件			
古都鎌倉の寺院・神社ほか	←	武家の古都・鎌倉	2022年8月1日
◆ P.141 - 日本の暫定リスト登録物件			
佐渡島(さど)の金山	←	金を中心とする佐渡鉱山の遺産群	2022年8月1日
◆ P.141- 日本の暫定リスト登録物件			
北海道・北東北を中心とした縄文遺跡群(2021年世界遺産登録)	←	北海道・北東北を中心とした縄文遺跡群	2021年8月1日
北海道・北東北の縄文遺跡群(2021年世界遺産登録)	←	北海道・北東北を中心とした縄文遺跡群(2021年世界遺産登録)	2021年9月15日
◆ P.142 - 日本の暫定リスト登録物件			
奄美大島、徳之島、沖縄島北部及び西表島(2021年世界遺産登録)	←	奄美大島、徳之島、沖縄島北部及び西表島	2021年8月1日
◆ P.142 - 日本の暫定リスト登録物件 3段落目6行目			
特に日本の陸生脊椎動物の約57%がこの地域に生息し、	←	特に日本の陸生脊椎動物の約57%がこの地位に生息し、	2020年8月28日
◆ P.143 - 日本の世界遺産総論			
2020年4月現在	←	2020年3月現在	2020年4月30日
2020年6月現在	←	2020年4月現在	2020年6月21日
2020年10月現在	←	2020年6月現在	2020年10月31日
2021年2月現在	←	2020年10月現在	2021年2月22日
2021年8月現在、25件(文化遺産20件、自然遺産5件)登録されている日本の世界遺産を見てみると、日本の文化の特徴がよくあらわれている。文化遺産では、20件のうち『広島平和記念碑(原爆ドーム)』等を除く17件は、木造建造物が含まれており、木造建造物が日本文化の特徴であることの証しである。また自然遺産では、5件全て、森林とそれに関係する生態系が遺産価値の中心をなしており、	←	2021年2月現在、23件(文化遺産19件、自然遺産4件)登録されている日本の世界遺産を見てみると、日本の文化の特徴がよくあらわれている。文化遺産では、19件のうち『広島平和記念碑(原爆ドーム)』等を除く16件は、木造建造物が含まれており、木造建造物が日本文化の特徴であることの証しである。また自然遺産では、4件全て、森林とそれに関係する生態系が遺産価値の中心をなしており、	2021年8月1日

2021年9月現在	←	2021年8月現在	2021年9月5日
2022年3月現在	←	2021年9月現在	2022年3月1日
2022年8月現在	←	2022年3月現在	2022年8月30日
◆ P.143 - 日本の世界遺産総論 (図表)			
・北海道・北東北の縄文遺跡群 (iii) (v) ・奄美大島、徳之島、沖縄島北部及び西表島 (x)	←	(欄外に追加)	2021年8月1日
◆ P.150 - 池泉回遊式庭園 5行目			
西芳寺、天龍寺、二条城の庭園や識名園が池泉回遊式庭園にあたる。	←	池泉式では西芳寺や天龍寺の庭園が、池泉回遊式庭園では二条城の庭園や識名園がこれにあたる。	2021年5月26日
◆ P.153 - 北京と瀋陽の故宮 右下写真			
	←	 瀋陽の	2021年5月7日
◆ P.159 - イスファハーンのイマーム広場 欄外注			
マスジェド・ジャーメ: 上巻p.258参照	←	マスジェド・ジャーメ: 上巻p.260参照	2020年12月9日
◆ P.159 - ラホール城とシャーラマール庭園 1行目			
パキスタン北東部のラホール	←	パキスタン北西部のラホール	2020年12月9日
◆ P.167 - ラジャスタンの丘陵城塞軍 右下写真キャプション			
キルティ・スタンバ	←	ヴィンジャイ・スタンバ	2021年4月22日
◆ P.189 - ネムルト・ダーの巨大墳墓 3段落 6行目			
「獅子の星占い」と呼ばれるレリーフが施された石板には、獅子と19の星、三日月が刻まれ、水星、火星、木星が大きく描かれている。これは、紀元前62年の7月7日*の天体を表しているという。 *近年の研究では、紀元前62年7月3日ではないかという説もある	←	「王の星占い」と呼ばれるレリーフが施された石板には、獅子と19の星が刻まれ、水星、火星、金星が大きく描かれている。これは、紀元前62年の7月7日に、この3つの星が一直線に並んだことを表しているという。	2022年4月11日
◆ P.196 - ペルセポリス 10行目			
エジプトの銀、エチオピアやインドの象牙	←	エジプトの銀、エチオピアやインドの象牙	2021年2月18日
◆ P.199 - タキシラの都市遺跡 写真キャプション			
スタッコの仏像やレリーフが発掘されている	←	ジャンディアール寺院のレリーフ	2021年5月7日
◆ P.201 - ヒッタイトの首都ハットゥシヤ 3段落目9行目			
またハットゥシヤの南側にはイビクチャムの密林も残されている。	←	またハットゥシヤの南側にはイチャンカラの密林も残されている。	2020年8月28日

◆ P.210 - ピュー族の古代都市群 1段落1行目			
エーヤーワディー川流域の	←	イラワジ川流域の	2023年5月8日
◆ P.226 - アレppoの旧市街 5行目			
ハーン・アル・ジュムルク	←	ハーン・アル・ムジュルク	2021年5月26日
◆ P.231 - スコータイと周辺の歴史地区 写真キャプション			
ワット・サー・シー	←	ワット・マハーダート	2022年4月25日
◆ P.241 - ヘブロン:アル・ハリールの旧市街			
登録年 2017年/2017年危機遺産登録	←	登録年 2017年	2020年11月17日
◆ P.256 - 大足石刻 8行目			
特に大仏湾と呼ばれる崖の磨崖仏群、	←	特に大仏湾と呼ばれる崖の磨崖仏群、	2022年10月18日
◆ P.258 - イスファハーンのマスジェデ・ジャーメ(金曜モスク) 1行目			
マスジェデ・ジャーメ(金曜モスク)は、イラン最古の金曜礼拝用の大規模モスク。	←	マスジェデ・ジャーメ(金曜モスク)は、イラン最古の金曜礼拝用の大規模モスク。	2021年12月3日
◆ P.288 - パーミヤン渓谷の文化的景観と古代遺跡群 2段落1~2行目			
遺跡の中で最も有名なのは、4~5世紀に建てられたと伝わる2体の巨大な磨崖仏。磨崖仏とは、自然の岩壁を利用し、その岩面に彫刻された仏や菩薩像を指す。	←	遺跡の中で最も有名なのは、4~5世紀に建てられたと伝わる2体の巨大な磨崖仏。磨崖仏とは、自然の岩壁を利用し、その岩面に彫刻された仏や菩薩像を指す。	2022年10月18日
◆ P.301 - 五台山 1, 8行目			
切り立った斜面と丸い5つの山頂とによって稜線が形成される。	←	切り立った斜面と丸くはげた5つの山頂とによって稜線が形成される。	2021年10月22日
五百羅漢が川を渡る様子が三次元で表現されている。	←	五百羅漢が川を渡る様子が表現されている。	2021年10月22日
◆ P.306 - 峨眉山と楽山大仏 1段落1行目 / 欄外			
峨眉山の東、約20kmに位置する楽山大仏は、世界最大の磨崖仏*。	←	峨眉山の東、約20kmに位置する楽山大仏は、世界最大の磨崖仏*。	2022年10月18日
世界最大の磨崖仏:	←	世界最大の磨崖仏:	2022年10月18日
◆ P.307 - カンチェンジュンガ国立公園 見出し			
先住民の信仰の対象となった世界第三の高峰	←	先住民の信仰の対象となった世界第三の高峰	2022年3月4日
◆ P.319 - 四川省のジャイアントパンダ保護区群 1行目			
7つの自然保護区と9つの風景保存区を含む、	←	7つの自然保護区と8つの公園を含む、	2021年1月26日
◆ P.323 - シンハラジャ森林保護区 2行目			
特に鳥類はセイロンムドリやセイロンサンクジャクなど19*種の固有種が見つかっている。	←	特に鳥類はセイロンムドリやヘキサなど20種の固有種が見つかっている。	2021年10月8日

◆ P.323 - シンハラジャ森林保護区 脚注			
*スリランカの鳥類の固有種は20種	←	(脚注を追加)	2021年10月8日
◆ P.327 - ウジュン・クロン国立公園 7行目			
野生の牛であるバンテン、ジャワテナガザル、ジャワリーフモンキーなど	←	野生の牛であるバンテン、カニクイザル、インドクジャクなど	2021年10月8日
◆ P.331 - ダウリアの景観群 5行目			
マナヅル	←	シロエリツル	2021年10月8日
◆ P.345 - カルタゴの考古遺跡 14, 15行目			
この力を脅威に感じたローマは	←	この力を脅威に感じたローマ帝国は	2020年9月9日
この第三次ポエニ戦争でローマが勝利すると	←	この第三次ポエニ戦争でローマ帝国が勝利すると	2020年9月9日
◆ P.366 - ムザブの谷 見出し			
厳粛なイスラム教徒たちの「キュビズム」都市	←	厳粛なイスラムたちの「キュビズム」都市	2022年4月20日
◆ P.369 - ティムリカ・オヒンガの考古遺跡 4行目			
ティムリカ・オヒンガはの中で、	←	ティムリカ・オヒンガの中で、	2022年2月28日
◆ P.385 - バッサリー地方:バッサリー族とフラ族、ベディク族の文化的景観 1行目			
セネガル南東部に位置し	←	セネガル南西部に位置し	2021年1月8日
◆ P.413 - セレンゲティ国立公園 5行目			
ショウガラゴ	←	ブッシュベビー	2020年8月28日
◆ P.417 - ニンバ山厳正自然保護区 8行目			
ジャコウネコ科の動物アフリカンシベット	←	ネコ科の動物シベット	2020年8月28日
◆ P.421 - ジャー動物保護区 7行目			
世界最小のサル的一种であるコビトグエノン	←	世界最小のサルであるコビトグエノン	2021年5月26日
◆ P.427 - 首長ロイ・マタの旧所領			
文化遺産	←	自然遺産	2020年4月22日
◆ P.446 - シャーク湾 2行目			
ストロマトライトは、30億年前に光合成を開始し	←	ストロマトライトは、19億年前に光合成を開始し	2021年3月23日
◆ P.455 - 索引			
・エネディ山塊:自然的・文化的景観……[上]P398	←	・エネディ山塊……[上]P398	2022年2月28日

最終更新日 2023年7月7日